

## 会 議 録

会議の名称	令和4年度 第3回 茨木市指定管理者候補者選定委員会
開催日時	令和4年7月29日(金) (午前 <b>午後</b> 10時00分 開会 (午前 <b>午後</b> 12時00分 閉会
開催場所	- (WEB会議)
委員長	山下 克之 (追手門学院大学 経営学部 教授)
出席者	<b>【委員】</b> 山下 克之 委員長 (追手門学院大学 経営学部 教授) 坂西 明子 副委員長 (立命館大学 政策科学部 教授) 井元 真澄 委員 (梅花女子大学 心理こども学部 教授) 辰本 頼弘 委員 (追手門学院大学 社会学部 教授) 藤野 一夫 委員 (芸術文化観光専門職大学 芸術文化・観光学部教授) 和田 聡子 委員 (大阪学院大学 経済学部 教授) <b>【委員は五十音順】</b>
欠席者	無し
事務局職員	<b>【事務局】</b> 岩崎政策企画課長、梅鉢政策企画課係長、武井 <b>【説明員】</b> 井上障害福祉課長、佐原障害福祉課長代理、堀内障害福祉課係長、沖田 今西文化振興課長、松本文化振興課長代理 坪田スポーツ推進課参事、梶スポーツ推進課長代理 青木理事(健康づくり課長)、浦副理事(健康づくり課)、飯盛健康づ くり課係長、能勢医療政策課係長、坂本
開催形態	非公開
議題(案件)	(1) 指定管理者制度導入施設の選定方法及び評価報告について (障害福祉センター(ハートフル)、障害者就労支援センター(か しの木園)、障害者生活支援センター(ともしび園)) (2) 令和3年度指定管理者制度導入施設の評価報告について (福祉文化会館及び市民総合センター、プール3施設、忍頂寺スポ ーツ公園、体育館2施設、保健医療センター及びこども健康センタ ー、駐車場(28施設))
配布資料	(1) 障害福祉センター(ハートフル)選定関連資料 (2) 障害者就労支援センター(かしの木園)選定関連資料 (3) 障害者生活支援センター(ともしび園)選定関連資料 (4) 令和3年度公の施設評価シート

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>はじめに本日の出席委員の状況について、ご報告いたします。</p> <p>委員総数6人の内、出席の委員は6人でございます。委員会規則第6条第3項により、委員の半数以上が出席しておりますので、会議は成立いたしております。</p> <p>早速ですが、これからの議事は、本選定委員会規則により、山下委員長に会議の議長を務めていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
山下委員長	<p><b>2 案件審議</b></p> <p>それでは、ただ今から、令和4年度 第3回 茨木市指定管理者候補者選定委員会を開催します。</p> <p>本日の案件は、次第にありますとおり、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害福祉施設3施設の選定方法及び評価報告について</li> <li>・ 令和3年度指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価報告についてです。</li> </ul> <p>まずは、議題1の「障害福祉センター（ハートフル）の指定管理者候補者の選定方法及び評価報告について」審議いたします。</p> <p>施設の概要及び募集要項等の選定に係る書類等について、施設所管課からの説明を求めます。</p>
障害福祉課	<p>【次の項目について、順次説明】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設の概要</li> <li>(2) 令和3年度評価報告</li> <li>(3) 当該施設を指定管理とする理由</li> <li>(4) 選定に係る書類について（プレゼンテーションを実施する旨も説明）</li> </ol>
山下委員長	<p>ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますでしょうか。</p>
坂西委員	<p>評価シート P328</p> <p>アンケート項目で、令和2年度の利用者からのアンケート評価結果が、令和元年、令和3年度と比べると良い評価が得られています。これは、令和2年度に何か特別なことを行ったのでしょうか。</p>
障害福祉課	<p>コロナの関係もあり、利用者様の中で通所できるかどうか、非常に悩んでおられる方が多かったのですが、ハートフルの職員が、丁寧な対応をした結果、満足度が高くなったと考えられます。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
藤野委員	<p><b>募集要項 P8～9</b></p> <p>従事者の雇用及び労働者福祉の考え方の配点について、4点しか配点がありません。他市の文化施設や福祉、医療関係の施設では、事業者を選定する際に、社労士が選定委員に入っており、この労務管理、労働基準を満たしているか、きっちり評価しているところがあります。実際に運用を見ていると、これは指定管理者制度のデメリットではありますが、コストカットに走りがち自治体の場合は、経費を圧縮するため、この人件費を非正規雇用で非常に劣悪な労働条件で雇用するということが見受けられます。いわば使い捨てになっているような状況が、国の方でも問題としているところです。この部分に関する選定の配点が、4点で、しっかりと働く者の働き方や人権を重視しているかどうかの判定ができるかが不安です。このことについて、茨木市のチェックの方法や考え方を教えて下さい。</p>
事務局	<p>社労士によるチェックまではしておりませんが、労働関係法令等について、適応しているかどうかのチェックは、選定の際に事務局でしております。また、指示監督については、常日頃からしております。100点満点で4点の配点しかないというところではございますが、日々の運用及びモニタリングの中で、労働関係法令順守はしっかりとチェックしております。</p>
山下委員長	<p><b>募集要項 P2</b></p> <p>施設の供与に関する業務について、対象者及び利用料金を見直すという要項となっておりますが、趣旨はなんですか。</p>
障害福祉課	<p>利用対象者の拡大についてご説明いたします。現在ハートフルは、朝9時から夜9時半まで、かなり長時間開設しています。たくさん会議室があり、現状は障害者の方とその支援者にのみ、部屋を貸し出しているという状況です。そのため、モニタリングでもわかるように、施設の稼働率が非常に低い状態となっております。昨今、地域共生社会、障害を持っておられる方も持っておられない方もともに生きていく社会を目指すにあたり、この施設の稼働率の改善も含めて、障害をお持ちでない方についても、施設供与を開始したいというふうに考えております。その際はもともと障害者の方のための施設という側面がありますので、障害者の方は引き続き無料とすることにより、障害者の方が優先的に使いやすいような配慮については、引き続き行っていきたいと考えております。</p>
山下委員長	<p>新しく対象者を広げることに伴い、評価項目やモニタリング等も反映していく形でよろしいのでしょうか。結構大きい変更点だと思います。</p>
障害福祉課	<p>障害者理解への促進ということを目的とした利用者拡大という点がござ</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>いますので、評価項目等については、今後検討したいと思います。</p>
山下委員長	<p><b>評価シート P326</b> 平成 30 年度の収支が繰越金もなくゼロであるが、こちらについて説明を求めます。</p>
事務局	<p>人件費について、本部から 190 万円の繰入金があり、調整した結果、ゼロとなっております。</p>
山下委員長	<p>他にないようでしたら、障害福祉センター（ハートフル）については、公募により、プレゼンテーションを経まして候補者を選定することを決定してよろしいですか。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>
山下委員長	<p>それでは、この内容で決定いたします。</p>
	<p>つづきまして、議題 2 の「障害者就労支援センター（かしの木園）の指定管理者候補者の選定方法及び評価報告について」審議いたします。 施設の概要及び募集要項等の選定に係る書類等について、施設所管課からの説明を求めます。</p>
障害福祉課	<p><b>【次の項目について、順次説明】</b> (1) 施設の概要 (2) 令和 3 年度評価報告 (3) 当該施設を指定管理とする理由 (4) 選定に係る書類について（プレゼンテーションを実施する旨も説明）</p>
山下委員長	<p>ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますか。</p>
井元委員	<p><b>募集要項 P2</b> 事業の形態を就労移行支援の方にシフトするということだったのですが、その場合、現在就労継続支援 B 型を利用されている方への対応等について、何か考えておられるのでしょうか。</p>
障害福祉課	<p>現在、就労継続支援 B 型もしくは自立訓練事業を利用されておられる方の処遇について、ご説明いたします。いつ、この事業が終わるかにつきましては、応募者の提案によるところということになるのですが、指定期間の 5 年間のうち、少なくとも 1 年間は、就労継続支援 B 型事業と、就労移行支援事業が重なる期間を設けるように、条件を設定しております。した</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>がいまして、どこかのタイミングで、急に今の事業が終わって、新しい事業が始まるのではなく、利用意向や利用調整等を十分に慎重に対応しながら、徐々にフェードアウトさせて、新しい事業が始まるようにしておりますので、その点につきましては指定管理者だけではなく、市も一緒に、利用者の方の新たな受け入れ先の調整については対応してまいりたいと考えております。</p>
山下委員長	<p>他にないようでしたら、障害者就労支援センター（かしの木園）については、公募により、プレゼンテーションを経まして候補者を選定することを決定してよろしいですか。</p>
委員全員	<p>（異議なし）</p>
山下委員長	<p>それでは、この内容で決定いたします。</p>
	<p>つづきまして、議題3の「障害者生活支援センター（ともしび園）の指定管理者候補者の選定方法及び評価報告について」審議いたします。</p> <p>施設の概要及び募集要項等の選定に係る書類等について、施設所管課からの説明を求めます。</p>
障害福祉課	<p>【次の項目について、順次説明】</p> <p>(1) 施設の概要</p> <p>(2) 令和3年度評価報告</p> <p>(3) 当該施設を指定管理とする理由</p> <p>(4) 選定に係る書類について（プレゼンテーションを実施する旨も説明）</p>
山下委員長	<p>ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますか。</p>
山下委員長	<p><b>評価シート P351</b></p> <p>事業費等収入について、令和2年度から令和3年度が、事業費収入で約1500万円の黒字となっています。こちらの内容について教えてください。</p> <p>また、次期指定期間の指定管理料の設定について説明をお願いします。</p>
障害福祉課	<p>事業費収入につきましてはこの施設では、いわゆるこの障害福祉サービスである生活介護事業と、日帰りショートステイ事業による収入です。事業費収入による黒字については、単純に受け入れる利用者様の数が増えたことに起因するものです。ただ、コロナの状況もございまして、利用者の受け入れ状況というのは非常に流動的な状況でございます。</p> <p>次期指定管理においては、今はかなり、比較的重度な方の障害者の受け入れをお願いしております。市からも指導はしておりますが、かなり丁寧</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山下委員長	<p>な対応をしていただいているというところもございます。国の配置基準を上回る職員数を配置いただいている状況でございます。丁寧に対応いただくことはもちろん大切ですが、やはり職員の配置については、収支のバランスを考えて、できるだけ国基準並みにしていただくように、働きかけを行っていきたいと思っております。したがって、次期指定管理料は、現在の指定管理料の水準よりも、ほぼ横ばい、若干低めという形で設定を行っております。</p> <p>これで万が一欠損した場合で、事業費収入が見られなかった場合は、何か補填されるっていう仕組みになっているのでしょうか。</p>
障害福祉課	<p>いえ、基本的には上限額の範囲内で行っていただくことを基本としております。例えば、コロナにより著しく利用者が激減した、収入が得られない状況になったというような場合につきましては、協議の上、補填を検討いたします。</p>
山下委員長	<p>他にないようでしたら、障害者生活支援センター（ともしび園）については、公募により、プレゼンテーションを経まして候補者を選定することを決定してよろしいですか。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、この内容で決定いたします。</p> <p>つづきまして、議題4の「令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価報告について」審議いたします。まずは、福祉文化会館及び市民総合センターの評価報告について審議しますので、事務局からの説明を求めます。</p>
事務局	<p>&lt;福祉文化会館及び市民総合センターの評価報告について説明&gt;</p>
山下委員長	<p>ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますか。</p>
藤野委員	<p><b>評価シート P230</b></p> <p>収支状況について、コロナ前を基準にするため、平成30年度の収支を見ておりますが、だいたい総支出が2億4千万円、利用料金収入が2施設合わせて4千5百万円です。指定管理料に対して、自己収益、つまり利用料金はどのくらいの割合かが、公募又は非公募を決める際の、たくさんある基準の中のひとつですが重要な部分と考えております。茨木</p>

議 事 の 経 過

発言者	議題 (案件) ・ 発言内容 ・ 決定事項
文化振興課	<p>市では、施設の性格や老朽化や市民利用の頻度などを考えて、利用料金の比率が2割くらいであれば、非公募が妥当だと考えられているのでしょうか。</p>
藤野委員	<p>はい、その通りです。</p> <p>また、茨木市の文化振興財団の職員の状況を知りたいのですが、職員数、市からの派遣人数、正規雇用のプロパー数、非正規雇用数等、何人いるのでしょうか。</p> <p>この団体が、「おにクル」の指定管理者には入らないという話だったと思います。福祉文化会館が閉館した場合、文化振興財団のプロパー職員の処遇はどうなりますか。見通しやお考えをお聞かせください。</p>
文化振興課	<p>令和3年度の職員数でございますが、財団のプロパーの職員は23人です。市からの出向につきましては、令和3年度まではゼロです。令和4年度から1名出向の職員がいます。これは、「おにクル」開館を見据え、文化事業の連携のためでございます。また、福祉文化会館が閉館となった場合、これまでの体制の部分で、財団のプロパー職員の処遇についてですが、市民総合センターは継続して文化振興財団が運営するとともに、「おにクル」については、新たに指定管理者を公募することになっており、その中での文化ホールで行う事業部分については、新しい指定管理者と文化振興財団が、連携協定を結び、事業を実施していく予定であり、その事業の運営にも力をいれていく予定をしております。</p>
藤野委員	<p>そうすると、市民総合センターは文化振興財団が継続して非公募で指定管理を行うことになるということですね。職員数としては、半分の十数人が配置されているということでしょうか。また文化振興財団の職員のスキルはどの程度なのでしょうか。</p>
文化振興課	<p>現状の職員の配置について、福祉文化会館で業務を行っている職員は少なく、クリエイトセンターで多くの職員が業務を行っています。そのため福祉文化会館閉鎖によって単純に余剰人員が半分発生するというものではございません。つまり、半分の十数人が配置されるということではございません。</p> <p>また、職員がどのくらいのスキルがあるかというところについては、施設管理がメインとなっているため、施設管理のスキルは十分にあると捉えております。一方で文化事業の振興のスキルにつきましては、スキルに個人差があるところでございます。今後は事業運営のスキルというところを伸ばしていくというところに課題があると認識しております。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議題 (案件) ・ 発言内容 ・ 決定事項
藤野委員	<p>おそらく、新しい施設「おにクル」の方は、民間のJV管理になるだろうと推測します。そこに、企画のところ、指定管理者ではない文化振興財団が連携していくことは、かなり珍しいと思います。</p> <p>島根県立美術館で建物管理はサントリーで、学芸員は県職員が残ったというのが初めてのケースではないかと思います。図書館、美術館、博物館はそういうのはありますが、公共ホールの場合は、私が知る限り、結構レアケースだと思います。うまくできるといいのですが、ほぼ前例がないので、その連携がうまくできるかどうか、不安な点があります。</p> <p>近隣施設で類似しているのは、豊中の文化芸術センターですね。制度設計に私も関わったのですが、1期目のときは、日本で初めてだったのですが、センチュリー交響楽団がJVに入り、主に企画をしていました。2期目は、財政状況が非常に厳しかったため、センチュリー交響楽団はJVからは外れはしましたが、連携協定をもって、オーケストラ等のコンサートを実施しており、このあたりが似ていると思います。演奏団体は、マネージメント能力もあり、アーティストを抱えているため、しっかり運用できるが、文化振興財団はアーティストを持っているわけではなく、アートマネージメントの力がどれくらいあるかが気になります。この力が無ければ、最終的には、文化振興財団はいらなくなってしまうことになりかねません。そのことを考えると、公益性の高い文化振興財団しかできないという点を見せておかないと、2期目は難しいのではないかと、私は感じます。</p>
山下委員長	<p>他にないようでしたら、福祉文化会館及び市民総合センターの評価報告についての審議を終了します。</p> <p>つづきまして、プール3施設の評価報告について審議しますので、事務局からの説明を求めます。</p>
事務局	<p>&lt;プール3施設の評価報告について説明&gt;</p>
山下委員長	<p>ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますか。</p>
辰本委員	<p>評価シート P267</p> <p>アンケート項目について、3施設の管理については、同じ事業者が管理しているため、アンケートを統一してできたらわかりやすいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
スポーツ推進課	<p>プールの特性があり、中条プールだけが違うのは、屋外プール、夏期のみであり、その点が西河原プールと五十鈴プールとのアンケート項目の差であります。</p>



議 事 の 経 過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
辰本委員	<p>施設の特性も当然あると思いますが、共通するところは共通するところでの項目があり、その後に違いがあるような、そういう並びがあれば、見やすいかと思います。プールも大型の施設であり、今後老朽化等もあると思いますので、市民の意見をどこまで取り入れることができるかが課題となると思いますので、そのあたりをうまく聞き取って反映していただければと思っております。</p>
山下委員長	<p>他にないようでしたら、プール3施設の評価報告についての審議を終了します。</p> <p>つづきまして、忍頂寺スポーツ公園の評価報告について審議しますので、事務局からの説明を求めます。</p>
事務局	<p>&lt;忍頂寺スポーツ公園の評価報告について説明&gt;</p>
山下委員長	<p>ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますか。</p> <p>ないようでしたら、忍頂寺スポーツ公園の評価報告についての審議を終了します。</p>
山下委員長	<p>つづきまして、体育館2施設の評価報告について審議しますので、事務局からの説明を求めます。</p>
事務局	<p>&lt;体育館2施設の評価報告について説明&gt;</p>
山下委員長	<p>ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますか。</p>
辰本先生	<p><b>評価シート P304</b></p> <p>アンケート項目で、安全衛生面について、市民体育館の方が、やや不満が多いですが、今コロナ禍というところも含めて、みんな意識が高くなっていると思いますが、何か理由はありますか。</p>
スポーツ推進課	<p>築年数が違いまして、衛生面の方で、建築年が古い市民体育館はトイレがあまり美しくないというお声をよくいただいております。その印象が理由かと思えます。両体育館とも、こまめにアルコール消毒等は行っており、その点について差はないと考えております。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議題 (案件) ・ 発言内容 ・ 決定事項
辰本先生	改修の予定はあるのでしょうか。
スポーツ 推進課	市民体育館の方は、トイレも大変古く、障害者用のトイレも古いため、改修を検討中です。
和田委員	<p>評価シート P313</p> <p>利用状況について、研修室や会議室の稼働率の部分で、スポーツ施設はどうしてもアリーナ等の稼働率を見がちですが、この研修室や会議室は、コロナ関係なく、慢性的に低いということは課題かと思いますが、市と事業者との間で協議されるなど、何か考えはあるのでしょうか。</p>
スポーツ 推進課	<p>研修室等については、研修以外の簡易なスポーツ（ヨガ等）を実施することはできることとなっております。現状、アリーナや多目的室が埋まっているわけではなく、そちらでヨガ等を実施しているため、研修室等の稼働率は低い状況です。今後の展開としては、簡易なスポーツ利用として、推進していきたいと思っております。</p>
和田委員	是非、数値を上げて行けるよう、工夫をお願いいたします。
山下委員長	他にないようでしたら、体育館2施設の評価報告についての審議を終了します。
山下委員長	つづきまして、保健医療センター及びこども健康センターの評価報告について審議しますので、事務局からの説明を求めます。
事務局	<保健医療センター及びこども健康センターの評価報告について説明>
山下委員長	ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますか。
坂西委員	<p>評価シート P439</p> <p>アンケート数について、年間利用者数からすると、かなり少ないと思います。アンケートを取りにくい分野であることは承知しておりますが、もう少しアンケートが取れるよう、何か考えていただきたく思います。</p>
健康づくり 課	やはり、コロナ禍でアンケートを取りにくいというところがございましたが、委員のおっしゃるとおり、利用者ニーズの把握はとても大切だと認識しております。今後、オンラインによるアンケートも検討しており、利用者ニーズをより多くとれるよう努めていきたいと思っております。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山下委員長	<p>他にないようでしたら、保健医療センター及びこども健康センターの評価報告についての審議を終了します。</p> <p>つづきまして、駐車場（28 施設）の評価報告について審議しますので、事務局からの説明を求めます。</p>
事務局	<駐車場（28 施設）の評価報告について説明>
山下委員長	ただ今の説明について、何か質問やご意見はございますか。
山下委員長	ないようでしたら、駐車場（28 施設）の評価報告についての審議を終了します。
	3 委員会閉会
山下委員長	以上で、本日の案件は終了いたしました。事務局から何か連絡はありますか。
事務局	第1回の会議で藤野委員から指摘のありました、「おにクル」の募集において応募団体数が多数の場合、審査する団体を絞った方が良いのではという意見がございましたので、担当課と調整し、募集要項に別添資料のとおり修正したいと思いますので、ご意見をお願いいたします。
藤野委員	最終、事務局のみでの判断は可能でしょうか。いいことばかり書いて実現可能性の低い提案を見抜くには専門家の目線が必要になります。専門の委員に対して、アドバイスをもらう等、検討してもよいのではないのでしょうか。
事務局	関係する様々な部署の職員と事務局で審査し、その審査結果を当委員会でご説明し、委員の皆さまにご了承いただいたうえで当委員会の審査に付さない団体を決定する形で進めたいと思っております。ただ、委員がおっしゃるように、専門家の知見をお借りできるのであれば、ぜひとも見ていただきたいと思いますので、応募団体数によりますが、委員のご意見を踏まえて検討したいと思います。
事務局	お忙しい中、3日連続の審議会開催にご協力いただきありがとうございました。次の当委員会は、10月の開催で、事業計画書やプレゼンテーションによる選考となります。ここで委員の皆様へのお願いになりますが、選

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山下委員長	<p>考におきましては、公平公正を担保するため、応募団体と委員の皆様に関係がある場合は、当該施設の選考から除外させていただく場合があります。応募団体が確定しましたらお知らせしますので、関係のおそれがある場合は、事務局までご報告をお願いします。また、応募団体から委員の皆様への接触がありましたら、失格とする場合があります。もし委員の皆さまに応募団体からの接触があった場合は、会話は控えていただき、接触があったことを事務局（政策企画課）までご報告ください。</p> <p>今回は、少し間が空きますが、10月4日（火）午後2時00分から、「おにクル」の全館管理及び市民活動センターのプレゼンテーションにより、ご審議（採点）いただく予定ですので、よろしくお願いいたします。なお、「おにクル」の全館管理については、事前に指定管理応募者の動画を見ていただき、当日は質疑応答の時間とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>また、次回もZ o o mによるWEB会議で実施させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>以上でございます。</p> <p>それでは、これで委員会を終了いたします。ありがとうございました。</p>